8月8日号　第2593号　2002年(平成14年)
(昭和24年5月10日　第三種郵便物認可)

発行所　財団法人　海上保安協会
〒104-0045　東京都中央区築地　5－3－1
電話　03－3542－3678～9
FAX　03－3541－9085
(毎週木曜日発行)
購読料　月極610円　送料共

海上保安新聞

黒松　千福
株式会社　三宅本店〈広島・呉〉

「不審船対応、海保の責務」

深谷新長官が記者会見

装備、高機能化へ

関係省庁の理解求める

海上保安庁の第38代長官に八月一日、深谷憲一氏が就任。新長官は記者会見で「海上で安全に安心して社会的・経済的活動ができるようにするのが基本。航空機・船舶の高機能化と老朽化対策では、関係省庁の理解を得るよう努力する」と述べた。

記者会見する深谷新長官

「広報」は積極的に

――抱負は。

この三年間、（航空局次長・局長として）空の安全を守る仕事をしてきたが、これは海でも同じこと。安全に安心して海上活動ができるようにするのが基本だと思う。そのために、治安の維持、海上交通の安全確保、海難の救助、海上防災・海上環境の保全活動がある。海上保安にたずさわる志を高く持ち、士気を高めていきたい。

――昨年暮れに起きた不審船事件をどう見るか。

海上保安庁発足以来、初めて経験する事案だった。一国民として、日本の海はあまりにも広く、国境は大変長いと感じた。その中で不法・違法活動を、いかに防ぐか。二度と起きないよう願っているが、起きた場合には、毅然として対応する。

――装備の高度化、自衛隊との役割分担・連携などについては。

装備については、さらに事案を検証していく。大型船の配備、武器を含めた船艇の高機能化が必要なことは認識している。財政が厳しい中だが、「日本全体の問題だ」という理解を得るよう努力する。今回のような事案は、第一義的には警察機関である海上保安庁の責務。事態の進展に備えて、自衛隊と情報を共有し連携するのは、必然と言える。

――航空機・船艇の老朽化対策は。

昭和四十五年に導入した航空機があると聞いた。私が社会人になる前から働いている。二十年以上経過したものが航空機で四割、船艇で三割ある。代替は、新たに求められる要件を満たしたものにしたい。財政事情があるので、海上保安庁として、工夫をしながらメリハリをつける必要があるかもしれない。他方で「国として必要なことなのだ」と訴えていきたい。

――業務の迅速化、国民のニーズの多様化に対してIT（情報技術）を、どう生かしていくか。

情報伝達手段のツールは、ずいぶん発達している。それを最大限に生かし、利用する発想に立つべきだと思う。現場の情報が本庁でリアルタイムにライブで見られるシステムは既にある。それを活用する発想が必要だ。また、利用者の視点に立つものの考え方をし、行政として、その視点で仕組みを作るのは当然だ。緒にはついていると思う。

――海上保安機関の二国間、多国間の連携をどう進めていくか。

一国だけで処理ができる時代ではない。不審船事案もそうだ。日ロ、日韓、日米、北太平洋と協力体制ができている。さらに、協議・協力・連携を進めていく。

――「広報」をどう考えるか。

昨年一月の日航ニアミスでも、事実をきちんと正しく知ってもらうのが良いという姿勢で臨んだ。そういう意識で対応する。サッカー・ワールドカップ警備は、上手くいきすぎて話題にならなかった。そういう例も含めて、「我々は、こういうことをしている」「しようとしている」と、積極的に出していきたい。

東南ア海域の海賊対策

「みずほ」ブルネイへ

14日には合同訓練

東南アジア周辺海域で多発している海賊対策のため航空機・巡視船を派遣する今年度第二陣として名古屋保安部巡視船「みずほ」が八月一日、ブルネイ向け名古屋港を出港した。

十二日にブルネイ入港、ブルネイの海上警察と海賊対策について意見交換。十四日には、公海上で漁船がシージャックされたという想定で合同訓練を行う。

ブルネイからは巡視船と特殊部隊が参加。「みずほ」は海に投げ出された乗組員を搭載艇で救助、負傷した乗組員をヘリコプターで吊り上げ救助する。

十六日にブルネイ出港、哨戒活動のほか、随時、日本関係船舶との通信訓練を行い、八月二十三日、名古屋帰港の予定。（四管）

今年上半期・東南アで68件発生

国際商業会議所国際海事局（IMB）によると、今年上半期の世界の海賊事件発生件数は一七一件で、過去最悪を記録した。一昨年（一六一件）、昨年（一六五件）に続き三年連続で増加している。

東南アジア海域は六八件で、昨年同期より一四件減った。それでも、全体に占める割合は四〇%近い。他の海域ではアフリカが四七件で一二件も増えているのが目立つ。

東南アジアではインドネシア海域の四四件が際立っている。五月二十五日には、インドネシアの旅客船がモルッカ諸島のアンボン沖で銃を持った海賊に襲撃され、乗客四人が死亡、多数が負傷した。海賊はスピードボートで逃げたという。

虚偽通報、示談成立

海保初の損害賠償金受領

江ノ島事件

三管本部は八月二日、今年一月の「神奈川県江ノ島沖で不審者が上陸」との虚偽通報をした神奈川県伊勢原市の男(42)と損害賠償について示談が成立、確認書を取り交わした。損害賠償額は巡視船艇などの燃料費、職員の超過勤務手当など実損額と遅延損害金の計一三四万一、四三三円。いたずら電話の通報者から海上保安庁が損害賠償金を受け取るのは初めて。

男は一月六日午後九時すぎ、「午後七時ごろ、江ノ島付近の海から不審な外国人風の男五～六人が江ノ島に上陸したのを見た」と三管本部に通報。海上保安庁は巡視船艇など七隻、航空機一二機、人員約三八〇人出動させ周辺海域などを捜索したが、翌七日午後、通報はウソと分かった。

男はウソの通報により海上保安庁の業務などを妨害したとして五月七日、藤沢警察署に偽計業務妨害容疑で逮捕された。

七月九日開かれた刑事訴訟の第一回公判で、弁護人から海上保安庁の損害を弁償する意向が示され、海上保安庁も示談に応じた。刑事訴訟で示された損害額二八三万一千円に対し、海上保安庁は通常業務をしていれば掛かるべき経費を除き、虚偽通報にかかっただけの燃料費約六八万三千円と超勤手当など約六二万円の実損額を賠償額とした。

おことわり　八月は五週のため、八月十五日付と二十九日付を休刊させていただきます。

週間海難情報

7月29日(月)～8月4日(日)

八月三日午後五時四十分ごろ、小樽保安部に「午後零時ごろ石狩湾新川河口を出港したプレジャーボート・エキサイター（〇・六トン、乗船者三人）が戻ってこない」と通報があった。

巡視艇二隻を捜索に当てるとともに、VHFで緊急放送したところ、午後七時ごろ、セメント運搬船・第5芙蓉丸が新川沖合約一三キロで機関故障のため漂流していた不明船を発見、小樽保安部に通報した。

捜索中の巡視艇「やぐるま」が曳航して午後八時四十分ごろ、小樽港に入港した。

今週、海上保安庁が救助した船舶、人命は七隻、二一人だった。

種類別	隻数
衝突	26
乗り揚げ	7
転覆	4
火災	0
爆発	0
浸水	2
機関故障	3
推進故障	3
舵故障	0
行方不明	0
その他	1
計	46

潮流

▼「私だけが浮き上がっている感じがします」。広報への姿勢について縄野前長官が話していた。縄野長官は「警備でも刑事でも基本的には、国民に対し説明しなければならない。説明しない場合は、その理由を言わなければならない」という考えの持ち主▼この欄で何度も指摘してきたが、海上保安庁、特に警救関係の職員の中には、警備や刑事事件について、なるべく説明しない人が多い。海上保安庁では「人と金のことは言うな」と言われてきたが、間違いだ。縄野長官が言うように、自分たちの仕事を国民によく理解してもらわなければ、業務に見合った予算、人員は確保できない▼国民の中には海上保安庁の存在すら知らない人がいるのが現実だ。黙って仕事をしていれば、国民が認めてくれるわけではない。縄野長官は事あるごとに「海上保安庁は業務の割に人も金も少ない」と言っていた。深谷新長官も広報には積極的姿勢を打ち出している。海保の業務に見合った人員、予算確保のため、新長官に期待したい。

新刊案内

▶好評発売中！海上保安関係図書

海事法令シリーズ④（収録・1月5日現在・全96件）
海上保安六法【平成14年版】　海上保安庁監修／A5判　定価11760円（〒500）

海上保安大学校・海上保安学校への道【平成14年版】　㈶海上保安協会監修／B6判　定価1470 9（〒360）

海洋法と船舶の通航　㈶日本海運振興会国際海運問題研究会編　A5判．定価2730円（〒390）

海洋をめぐる世界と日本　村田良平著／四六判　定価1995円（〒390）

船舶衝突の裁決例と解説　弁護士・海事補佐人　小川洋一 編著　A5判　定価6720円（〒430）
海難審判における船舶衝突の裁決例を法令別に132件収録して解説。
航法の基本はGood Seamanship，「船員の常務」を重視した実務書。

CGコミック 海上衝突予防法　岩瀬 潔 監修／鈴木卓也 著　A5判　定価2520円（〒360）
海上交通の最も基本的な法規「海上衝突予防法」をゼロから学ぶ解説書。
リアルなCGキャラクター，明解なストーリー仕立て，視覚的にも楽しいオールカラー，自然に法規が身につくテキストです。

定価・発送費（〒）は消費税込みです

図書目録進呈

成山堂書店　〒160-0012　東京都新宿区南元町4－51　成山堂ビル
TEL 03(3357)5861　FAX 03(3357)5867
http://www.seizando.co.jp　E-mail:publisher@seizando.co.jp
振替口座 00170－4－78174